

2021年3月5日

福島民友新聞社 小野広司

第5回懇談会の欠席に当たって、文書による意見提出

通告しました通りすでに予定された日程が入っている日時での開催で、出席できないため、下記の意見を文書で提出します。

1. 2021年度県予算では多くの歳出項目で減額が目立つ中、教育費は削減幅が少なめに抑えられましたが、それでも、今後のふくしまの再生、飛躍には「教育立県」が欠かせないと考える立場から、充足しているとは思えません。大人社会の都合が色濃い各項目では我慢をお願いしつつ、教育費を3割程度まで思い切って増やすことで、子どもたちをしっかりと育てていくべきです。また、その責任に見合う質の高い教員、子どもの力を伸ばせる教員の育成に力を注いでいただきたい。
2. 子どもたちの心身の健康を取り戻し、さらには、**元気な子どもが育つふくしま**を内外にアピールすることが必要です。学校と医療の関係を深める取り組みが始まろうとしています。地域の医師が地域の子どもの心身の健康を一貫して長期的にサポートできるよう、密接な関係づくりを各機関の連携で全県的に広げていくべきだと考えます。